

平成 28 年 2 月 5 日

各 位

株式会社 東 和 銀 行

平成 28 年 3 月期第 3 四半期（4-12 月）決算について

平成 28 年 3 月期第 3 四半期の単体決算は、預貸金、事業性貸出先数は堅調に推移しましたが、コア業務純益、経常利益、第 3 四半期純利益は減益となりました。

【単体決算概要】

（単位：百万円）

	平成 28 年 3 月期 第 3 四半期	平成 27 年 3 月期 第 3 四半期	前年同期比	平成 28 年 3 月期 経営強化計画（年度）	計画比 （進捗率）
コア業務純益	7,283	7,739	△455	9,310	78.2%
経常利益	7,135	7,995	△859	7,626	93.5%
第 3 四半期純利益	6,137	8,579	△2,442	6,398	95.9%

1. 預貸金について

預金は、前年同期比 337 億円増加の 1 兆 8,895 億円、貸出金は、同 294 億円増加の 1 兆 3,590 億円となり、預金・貸出金とも好調に増加しています。

また、新規事業所開拓が順調で事業性貸出先数は前年同期比 809 先増加し、14,006 先に達しました。

2. コア業務純益について

本業の収益力を示すコア業務純益は、資金利益の減少により 7,283 百万円となりました。

3. 経常利益及び第 3 四半期純利益について

経常利益は償却債権取立益の減少により 7,135 百万円、第 3 四半期純利益は、前年度の東和フェニックス株式会社解散に伴う繰延税金資産の計上がなくなり 6,137 百万円となりました。

なお、通期計画に対する進捗率は、それぞれ 93.5%、95.9%に達しました。

4. 自己資本比率について

自己資本比率は、単体が前年同期比 0.32 ポイント上昇の 11.00%、連結が同 0.22 ポイント上昇の 11.10%となりました。

5. 金融再生法開示債権比率について

金融再生法開示債権比率は、前年同期比 0.19 ポイント低下し 3.94%となりました。

以 上